

RS-CIRT オンライントレーニングのご紹介

CSIRT(※)に初めて関わる方々を対象に、発生するコンピュータインシデントに対して、適切な対策が学べるオンライン教育です。

Point
1

CSIRTの基本的な考え方を習得！

対応の流れや基本的な考えを学ぶことができます。

Point
2

個人の知識、対応力のレベルアップ！

不足している知識が分かり、個人の知識、対応力のレベルアップが図れます。

Point
3

自組織の課題に気付ける！

自組織に帰った際にどのように対応すべきか、何が必要か気付きができるようになります。

※CSIRT

Computer Security Incident Response Teamの略。

発生した事象を検知及びその報告を受け、組織におけるコンピュータインシデントと判断し解決に向けた対応及び調整ができる機能或いはチーム。コンピュータインシデントの発生抑止あるいは解決のため、外部との技術的な連携ができる。

受講者数

2名～6名程度を対象

対象者

CSIRTの基礎を学習したい方

研修時間

2時間程度

受講形式

オンライン教育

トレーニングの流れ

参加者全員が、ある会社の情報システム部門担当者という設定で、社内で起きた情報セキュリティインシデントに対して、考えられる行動一覧から適切な対応と思われる行動（アクション）を選択し、対応方法を学んでいただきます。



- ▶ 情報セキュリティインシデントと思われる事象が発生。→その事象に対処するアクションを、一覧から選択。
- ▶ 各アクションには0～100ポイントまでポイントが付いており、良いアクションであるほど高ポイント。

■アクション一覧

FWのログの確認 コスト ★★
外部向けファイアウォールのログを確認して、不審な通信が無いが確認する。

ネットワーク遮断 コスト ★
ただちに外部インターネットに繋がるLANケーブルを抜き、社内システムからインターネットへの接続を完全に遮断する。

経営層へ報告 コスト ★
インシデントが発生したことを経営層に報告する。

資産管理ソフトによる確認 コスト ★★
資産管理ソフトで業務外のアプリをインストールしている者がいないか確認する。

■ポイント表

名称	事象A		事象B		事象C		事象D		合計ポイント
	選択した行動	ポイント	選択した行動	ポイント	選択した行動	ポイント	選択した行動	ポイント	
名前を記入してください 1									0
名前を記入してください 2									0
名前を記入してください 3									0
名前を記入してください 4									0
名前を記入してください 5									0
名前を記入してください 6									0

お問い合わせ